

Technical Data

Model	Coax 811	Coax 611	Coax 411	Coax Center 211
構成	3ウェイ パッシブラジエーター方式 フロア型スピーカー	3ウェイ パッシブラジエーター方式 トールボーイ型スピーカー	3ウェイ パスレフ型 ブックシェルフスピーカー	3ウェイ 密閉方式 センタースピーカー
推奨アンプ出力	20-250W	20-250W	20-200W	20-250W
能率	92dB/W/m	90dB/W/m	90dB/W/m	90dB/W/m
インピーダンス	4Ω	4Ω	4Ω	4Ω
再生周波数特性	22Hz-50kHz	32Hz-50kHz	35Hz-50kHz	35Hz-50kHz
ユニット	C212+同軸リボン×1 22cm UHQD*ウーファー×2 22cm UHQD*パッシブ×2	C112+同軸リボン×1 16cm UHQD*ウーファー×2 16cm UHQD*パッシブ×3	C112+同軸リボン×1 16cm UHQD*ウーファー×1	C112+同軸リボン×1 16cm UHQD*ウーファー×2
	*Ultra High Quality Driver: SEAS/チタン製ボイスコイル/アルミ振動板			
クロスオーバー周波数	500Hz/3.5kHz	450Hz/3.5kHz	450Hz/3.5kHz	450Hz/3.5kHz
入力端子	WBTターミナル バイワイヤリング可			
サイズ	本体: H1240×W290×D420mm ボトムプレート: H20×W470×D450mm (スパイク等を除く)	本体: H1170×W210×D310mm ボトムプレート: H15×W360×D340mm (スパイク等を除く)	H450×W210×D310mm	H210×W620×D310mm
重量	63kg/本	45kg/本	25kg/本	21kg/本
キャビネット	アルミ製(押し出し加工) 改良型アルミ製内部補強構造(TIM2)			
仕上げ	シルバー、ブラック キャビネット: ポリッシュドアルミニウム・アルマイト加工/シルバー: シルバーグリル、ブラック: ブラックグリル ホワイト キャビネット: ポリッシュドアルミニウム・ホワイト塗装/ホワイトグリルカバー			
本体価格	シルバー: ¥5,280,000/ペア(税込) ¥5,401,000/ペア(税込) (ボトムプレート付き)	シルバー: ¥2,915,000/ペア(税込) ¥3,014,000/ペア(税込) (ボトムプレート付き)	シルバー: ¥1,540,000/ペア(税込) ブラック、ホワイト: ¥1,650,000/ペア(税込)	シルバー: ¥968,000/本(税込) ブラック、ホワイト: ¥1,078,000/本(税込)
オプション	ボトムプレート ¥242,000/ペア(税込)	ボトムプレート ¥198,000/ペア(税込)	Stand 300 ¥286,000/ペア(税込)	



PIEGA
S W I T Z E R L A N D

Coax Gen2 Series

SWISS HANDCRAFTED LOUDSPEAKERS SINCE 1986

PIEGA
S W I T Z E R L A N D

輸入総代理店フューレンコーディネート Toll Free 0120-004884 www.piega.jp

2023年4月現在

PIEGA Coax Gen2 Series

Coax Gen2 (Generation Second) シリーズのラウドスピーカーは、驚異的な精度であらゆる楽曲を再生することができます。高音域から低音域までシームレスでシンクロした音が再生されることで、クリアで自然な汚れのない音像を生み出します。前作Coaxシリーズで成功を納めたPIEGAは、その代名詞ともいえる同軸リボンユニットやアルミのキャビネットの改善に取り組み、さらなる可能性の境界を目指しました。創業者の一人Kurt Scheuchによって開発、確立された傑作であるCoax 711、511、および311。これに対して細部からあらためて改良の余地を見出し、徹底的に磨き上げました。Coaxシリーズの第2世代 (Generation Second) の4つの真新しいハイエンドモデルは、前例のないサウンド、時代を超越したエレガンスな表現で皆様に新しいインスピレーションを与えるでしょう。

新開発の同軸リボンユニット「C212+(プラス)、C112+(プラス)」



同軸リボン自体、特にツイーターに比べて振幅の大きいミッドレンジに対しては、新たに裏面へダンプ材を追加しています。応答特性の速さが魅力のリボンユニットに対するこの挑戦は、数十種類の素材を吟味、テストすることで最良のマテリアルを発見し採用するに至りました。結果、これまでよりも整い、正確に駆動

するミッドレンジは、ポップスからジャズ、グランドオーケストラまで、あらゆる種類の音楽を優れたダイナミクス、信じられないほどの空間性、素晴らしい解像度で皆様へ披露します。

また、そのリボンユニットをホールドするフレームも見直されました。これまでよりも厚いプレートを採用し、そこへ細長いネオジム磁石を取り付けるための溝を加工。この溝に細長いネオジムマグネットを嵌めることが可能となったため、以前よりもフロントプレートにしっかりと固定することが可能になりました。ネオジム磁石の物理的な固定にはマイクロバブルを含むより良いダンピング特性を持つソフトな接着剤を採用。

結果、フロントプレートのダンピングが改善され、音質に影響を及ぼす微小レベルの不要な振動が圧倒的に減少。さらにセンターにも磁石を配置出来るようになったため、ツイーター部はプッシュプル動作が可能になり高域の特性も改善されています。

UHQDウーファー (Ultra High Quality Driver)

Coax Gen2シリーズ用に最適化されたUHQDウーファーを新開発の同軸リボンユニット「C212+」「C112+」のパートナーとして使用することで、新しい同軸ドライバーはその可能性を最大限に引き出すことが出来ます。スピード感を伴う加速とダイナミクスを併せ持つUHQDウーファーは、より繊細で正確性を増した同軸ドライバーの音楽再生を文字通り下から支えます。それはSEAS (シアーズ) との共同開発で採用されたチタン製ボイスコイルと、最適化されたサスペンションが特殊成型された高剛性のアルミ振動板を駆動することで成し得ることが可能となりました。

TIM2



«Tension Improvement Module 2» (TIM2) は、制御された張力でキャビネットの共振を効果的に減衰させます。前Coaxシリーズで初めて採用された「TIM」は「TIM2」へと進化しまし

た。それはキャビネット内部から外側へ「TIM」のフレームを押し当てて圧力で共振を抑えたのに加え、「TIM2」ではキャビネット内部へ引っ張る機構も追加して、さらに共振をコントロールしています。

押し出し成形で造られたキャビネット内部のリムを金具で引っ張る。圧力と張力という反する機構を一つにし、さらにキャビネットの振動をレーザーでとらえてそれぞれのテンションを最適化しています。Coax 811には4枚、611には5枚と、ユニットの境目に設置して、ユニットごとの干渉も抑えています。



Coax 811

Coax Gen2シリーズのフラッグシップは、最高の表現だけを求める音楽愛好家のために、あらゆるタイプのサウンドを再生します。高さ124cmのCoax 811は、リビングエリアで最高の演奏者となるはずです。新開発の同軸リボンは、鮮やかで緻密な高音域とシルキーでクリアな中音域を提供し、お部屋の中にシームレスなステージを実現します。220mmのUHQDウーファーは2つのアクティブに駆動するユニットと2つのパッシブラジエターの組み合わせ。反応良くダイナミックで響き渡る低音を生み出します。

Coax 611

スレンダーなCoax 611は、自然で活気に満ちたサウンドの多様性を提供します。採用されている同軸リボンは「C112+」。堅牢なフレームと応答特性がアップした「C112+」は450Hzまでの帯域を受け持ちます。そこへ16cmのウーファーを2本、パッシブラジエター3本、計5本で構成された低域が加わることで、スリムな外観からは想像のできない力強く見通しの良いステージを再現します。ボリュームを絞っても損なわれることのない上質なオーディオパフォーマンスをお楽しみ頂けます。

Coax 411

Coax 411は、PIEGAの同軸リボンユニットの世界を体験できる最適なスピーカーです。比類のない解像度、滑らかさで音楽の世界へと誘います。450Hzまで再生を受け持つ「C112+」同軸ドライバーと16cmUHQDウーファー1本の組み合わせは、剛性の上がったキャビネットがそれぞれのユニットをしっかりとホールドすることで、高域から低域まで参みなくいきいきとしたサウンドを再現。圧倒的な音の広がり表現できるCoax 411での音楽体験はきっと忘れられないものとなるでしょう。



Coax Center 211

Coax Center 211はCoax 611、Coax 411と同様、「C112+」同軸ドライバーと16cmUHQDウーファーを搭載したセンタースピーカーです。

Coax 611、Coax 411との組み合わせは、シームレスな空間と繊細で表現力豊かなシアター環境を実現します。自然で活気に満ちたサウンドの多様性は映画をこよなく愛する皆様に大いなる刺激を与えることでしょう。